

書道部通信

令和2年7月17日 発行

第1号

札幌清田高校書道部

今、できることを

顧問 小野 陽子

今年度は1年生に向けての部活動紹介集会はできたものの、新型コロナウイルスの感染予防の休校により活動ができない状態が続きました。休校明け、加入者集会が行われ6月中旬やっと部活再開となりました。新入部員8名を加え、皆が経験したことのないこのコロナ禍の中でできることをやっていきたいと思えます。協力してくれるおうちの方々にも感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいきましょう。

1年間よろしくお祈いします

副顧問 菅原 桂子

昨年2か月間イギリスで研修に参加していた時、語学学校を訪問してJAPAN DAYを開催する機会がありました。日本語を教えたり、日本文化を紹介して楽しい時間を過ごしました。子どもたちが特に喜んでくれたのは、書道でした。彼らの名前を漢字にあてて書いてあげるとCool!と言ってその紙を大事に持ち帰っていました。恥ずかしくてみなさんにお見せできるような作品ではありませんでしたが、子どものころから高校生までほんの少ししたしなだ書道が国際交流に役立った瞬間でした。

今年もできる限りみなさんのサポートをしていきたいと思えますので、よろしくお祈いします。

部長あいさつ

3年8組 佐竹 奏美

今年は3年生17人、2年生7人、1年生7人の計31人で活動することになりました。昨年は部員の約半数が高文連の全道大会に参加し、全国大会に進出を決めた生徒もいてめざましい成果をあげました。今年度は新型コロナウイルスの影響で部活動の再開が遅くなり、昨年度行った活動ができなかったり最大の目玉行事、2泊3日の合同合宿も中止となってしまいました。私たち3年生にとっては最後の合宿。残念な気持ちでいっぱいですが、この悔しさをバネに全道大会に向けて一生懸命がんばりたいです。

コロナウイルスに打ち勝つため、3年生の発案で4階書道教室の窓にメッセージを揮毫し、貼りました。掲示した翌日に養護教諭の矢野先生が「みたよ!(^^)!!」と気づいてくださり、大変嬉しかったです。

